

試験報告書

依頼者 CO2システムズ株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 本報告書中

表題 殺菌効果試験

2016 年(平成 28 年)06 月 07 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

CO2システムズ株式会社

2 検体

- 1) 弱酸性次亜塩素酸除菌水「カーボニック除菌水」50ppm
- 2) 弱酸性次亜塩素酸除菌水「カーボニック除菌水」100ppm

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。また, 培養後の生菌数測定平板の一例を写真-1~8に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で10倍に希釈することにより, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを予備試験により確認した。

表-1-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)			
		開始時	15秒後	1分後	5分後
枯草菌 (芽胞)	検体1)	—	5.4×10^5	3.3×10^5	<10
	検体2)	—	4.9×10^5	9.9×10^4	<10
	対 照	5.3×10^5	—	—	5.5×10^5
VRE	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	5.3×10^5	—	—	5.4×10^5
大腸菌 (O157:H7)	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	7.1×10^5	—	—	7.7×10^6
ジンジパリス菌	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	2.1×10^6	—	—	1.3×10^6
緑膿菌	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	6.1×10^5	—	—	6.6×10^5
サルモネラ	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	5.6×10^5	—	—	6.6×10^5
セラチア	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	6.2×10^5	—	—	6.4×10^5
MRSA	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	1.3×10^5	—	—	1.6×10^5

<10：検出せず

保存温度：室温

対照：精製水 (MRSAは生理食塩水)

表-1-2 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)			
		開始時	15秒後	1分後	5分後
ミュータンス菌	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	8.8×10^5	—	—	7.6×10^5
クロコウジカビ	検体1)	—	3.3×10^5	2.2×10^2	<10
	検体2)	—	1.1×10^5	10	<10
	対 照	3.4×10^5	—	—	3.4×10^5
クロカワカビ	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	2.5×10^5	—	—	2.2×10^6
白癬菌	検体1)	—	<10	<10	<10
	検体2)	—	<10	<10	<10
	対 照	6.8×10^5	—	—	6.3×10^5

<10：検出せず

保存温度：室温

対照：精製水

以 上



写真-1 枯草菌(芽胞) 対照 開始時
(試験液 0.1 mL)



写真-2 枯草菌(芽胞) 検体1) 15秒後
(試験液 0.1 mL)



写真-3 枯草菌(芽胞) 検体2) 15秒後
(試験液 0.1 mL)



写真-4 枯草菌(芽胞) 検体1) 1分後
(試験液 0.1 mL)



写真-5 枯草菌(芽胞) 検体2) 1分後
(試験液 0.1 mL)

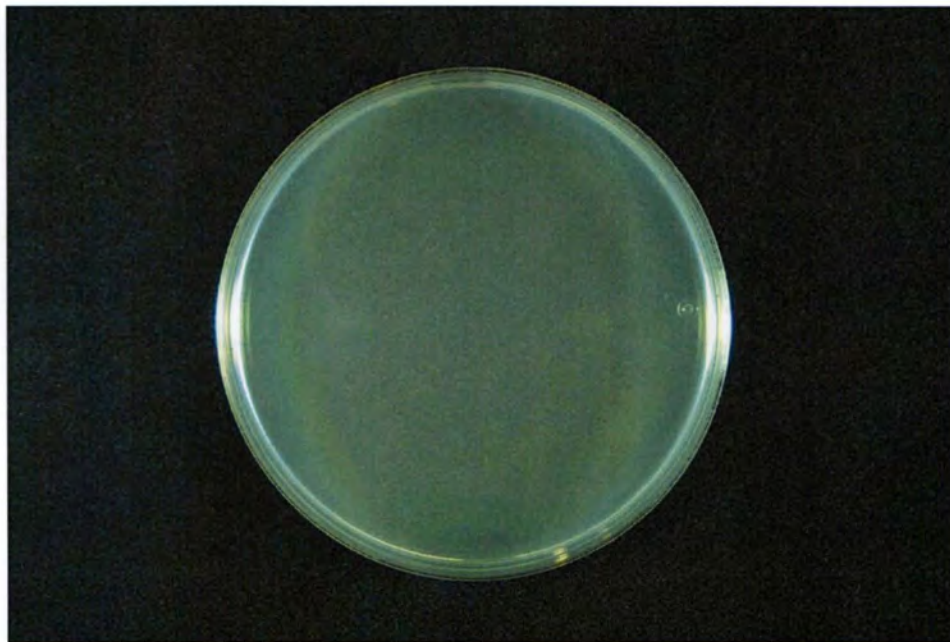


写真-6 枯草菌(芽胞) 検体1) 5分後
(試験液 0.1 mL)

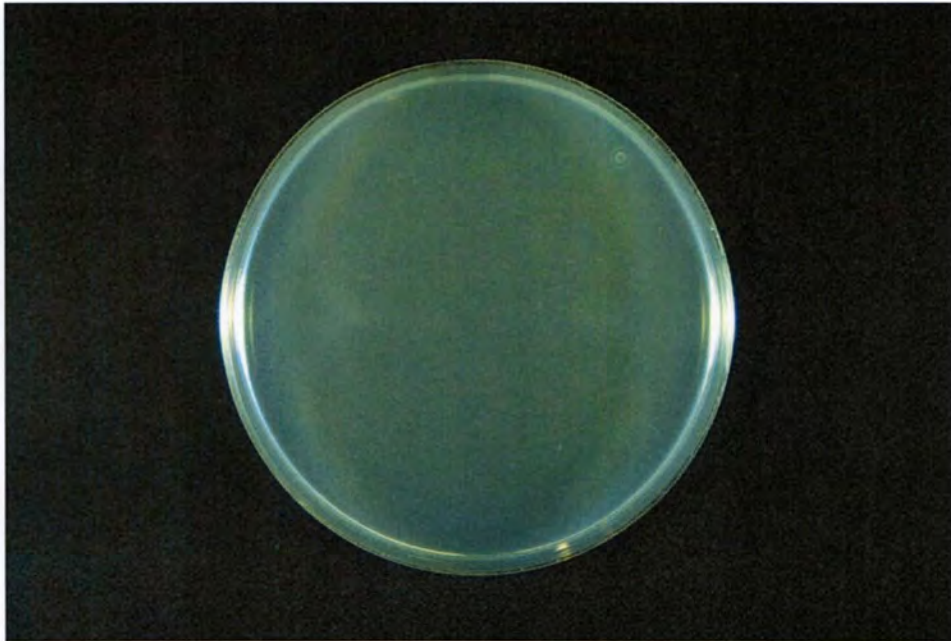


写真-7 枯草菌(芽胞) 検体2) 5分後
(試験液 0.1 mL)

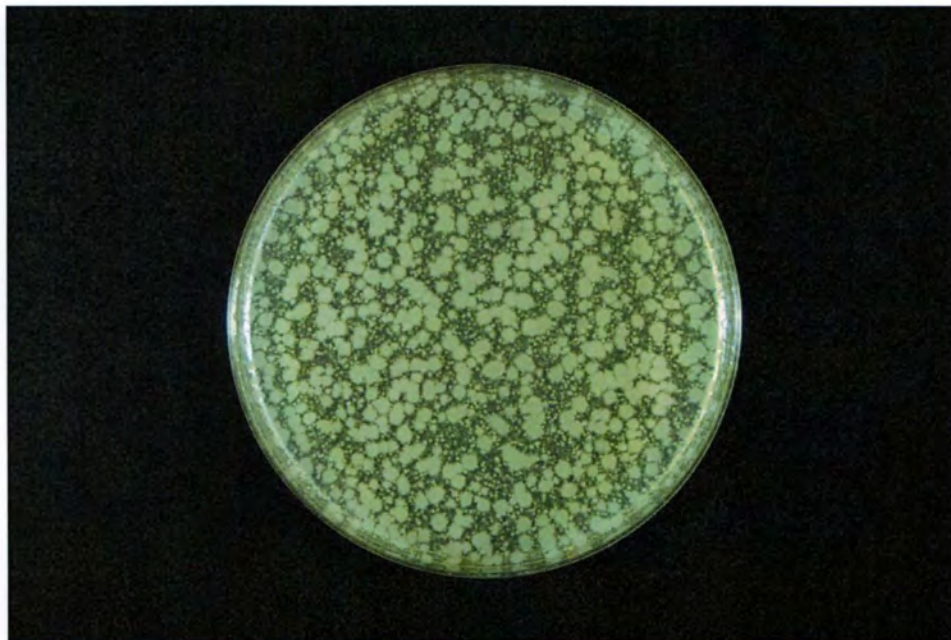


写真-8 枯草菌(芽胞) 対照 5分後
(試験液 0.1 mL)

以 上